

市川・東邦・秀英3校合同説明会が開催されました！

7月15日（土）瑞江教室に於いて、千葉県の人気校である「市川学園」「東邦大東邦」「昭和学院秀英」による合同説明会が開催されました。当日は非常に暑い中、46名の保護者、生徒に参加して頂きました。本当にありがとうございます。まず、13：00から市川学園の高田広報部長から説明をしていただきました。学校の教育方針、学校生活の様子、入試についてと盛りだくさんの内容でしたが、簡潔にご説明いただきました。司会から、定期テストで成績が悪かった場合の対応についてお聞きしましたが、「補習をくり返し行い、勉強のやり方そのものを指導していきます。」とお答えを頂きました。続いて東邦大東邦の上野広報部長に登場して頂きました。上野先生は、学校の目指すものを社会の情勢を捉えながら、別の視点からこれから必要になる力を育てて行こうとする学校の姿勢が伺えたと思います。司会からは、他の学校では大学入試改革を踏まえて試験問題に記述を増やす学校が多くなっていますが、そういう変更をする予定はありますか？と質問させて頂きましたが、「そういう力は学校に入ってからつけて行けるもので、すでに完成した力を持っている必要はありません。ですから、問題形式にも変更はありません。」とお答えいただきました。最後に昭和秀英の深山事務長からお話しをしていただきました。独特の語り口で、他の学校との違いをざっくりと語っていただきました。今年度大きな入試変更点があります。それは20日の午後に算国の入試を新設するということでしたが、「20日に市川さんがメッセで入試を受けているのでその帰りによって、受けて下さい。」とお話しされ、笑いを誘っていました。「算数が60分で、重視しますので算数の得意な生徒に受けてほしいです。」ということもお話ししていました。会が終わってから相談コーナーを設けましたが、何組かの方が熱心に質問をしていました。ご感想も頂きましたので、下に載せておきます。今後も、このような機会を作っていきますので是非ご活用いただき、私立学校の実際の様子を知るきっかけにいただければと思います。



参加者の声

「気になっていた学校がまとまって説明をしていただけて、大変ありがたい説明会でした。学校によってこだわりの理念があることを知り、学校選びに拓だてたいと思いました。」「各校とも将来社会に出たときに必要な力を得るためのカリキュラムを組んでおられて、信頼できるという印象を持ちました。受験についてなど、学校案内には書いてないことも教えていただけてとても参考になりました。」「かなり本音のお話が聞けて楽しかったです。」「大きな会場でないため聞きやすかったです。」

また、「今後は入試傾向を中心とした説明会を開催してほしい。」「都内の学校についても開催してほしい。」「女子校でも同じような説明会を開催してほしい。」「というご要望も頂きました。応えていけるようにしたいと思います。」



市川学園 高田広報部長



東邦大東邦 上野広報部長



昭和秀英 深山事務長